

# 化学療法計画書

治療法名	オプジーボ/ヤーボイ		
コース数		コース目	
腫瘍種	腎細胞がん MSI-High大腸がん		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容	Day	1 . . . . .	8 . . . . .	15 . . . . .	22
	予定日	1/0			
ヤーボイ	1 mg/kg	↓			↓
オプジーボ	240 mg/ body	↓			↓
治療開始日		治療間隔	3週毎	予定コース数	4回で終了
身長	150 cm	体重	49 kg	BSA	1.39 m2
eGFR	60 ml/min	eGFR/BSA	48 ml/min		

<b>投与開始基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>根治切除不能または転移性患者</li> <li>自己免疫疾患の合併または既往歴</li> <li>重度な肝障害のある患者は慎重に投与</li> </ul>
<b>延期基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>G2の有害事象</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>肺臓炎:ステロイド投与</li> <li>下痢・大腸炎:ステロイド投与</li> <li>肝障害:ステロイド投与</li> <li>甲状腺機能低下症:甲状腺ホルモンの治療</li> <li>甲状腺機能亢進症:非選択的β遮断薬など対処療法</li> <li>神経障害:ステロイド投与</li> <li>腎障害:ステロイド投与</li> <li>副腎機能障害:ステロイド投与</li> <li>下垂体機能障害:ステロイド投与</li> <li>I型糖尿病:インスリン補充療法考慮</li> <li>膵炎:ステロイド投与</li> <li>横紋筋融解症・筋炎:ステロイド考慮</li> <li>重症筋無力症:抗コリンエステラーゼ検討</li> <li>ステロイド投与</li> <li>脳炎・髄膜炎:ステロイド考慮</li> <li>心筋炎:ステロイド考慮</li> </ul>

皮膚障害はG3で休薬  
原則専門医に相談  
G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減  
日和見感染に注意

day1

インラインフィルターを使用

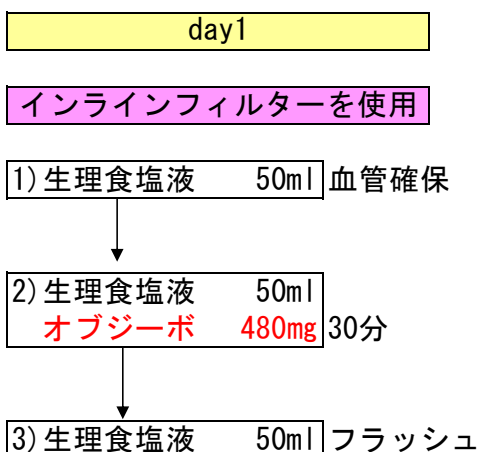
1) 生理食塩液	50ml	血管確保
↓		
2) 生理食塩液	50ml	
オプジーボ	240mg	30分
↓		
3) 生理食塩液	50ml	30分
↓		(観察)
↓		(ヤーボイ5mg/ml)
4) 生理食塩液	50ml	
ヤーボイ	49mg	30分
↓		ヤーボイの液量分+10mlを生食から
↓		抜き、ヤーボイ分を生食に追加
↓		総液量は40ml
5) 生理食塩液	50ml	フラッシュ用

インフュージョンリアクションに注意

<b>Infusion reaction</b>
(軽度 ~ 中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

## 化学療法計画書

治療法名		オプジーボ4週毎					
コース数		コース目					
腫瘍種		非小細胞肺癌、腎がん、悪性黒色腫、ホジキンリンパ腫、頭頸部がん、胃がん、悪性胸膜中皮腫、MSI-High大腸がん、食道がん、原発不明がん					
患者名				♂	年齢		
患者ID				生年月日			
部署				主治医	科	Dr	
開始予定日							
治療内容		Day	1	15	29	43	57
		予定日	1/0	1/14	1/28	2/11	
オプジーボ		480 mg/body	↓				
治療開始日				治療間隔	4週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>		
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min				



インフュージョンリアクションに注意  
(軽度 ~ 中等度)  
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
(重篤) 呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

## 化学療法計画書

治療法名		オプジーボ2週毎					
コース数		コース目					
腫瘍種		非小細胞肺癌、腎がん、悪性黒色腫、ホジキンリンパ腫、頭頸部がん、胃がん 悪性胸膜中皮腫、MSI-High大腸がん、食道がん 原発不明がん					
患者名				♂	年齢		
患者ID				生年月日			
部署				主治医		科 Dr	
開始予定日							
治療内容		Day	1	15	29	43	57
		予定日	1/0	1/14	1/28	2/11	k
オプジーボ		240 mg/body	↓	↓	↓		
治療開始日				治療間隔	6週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>		
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min				

day1, 15, 29

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50ml 血管確保

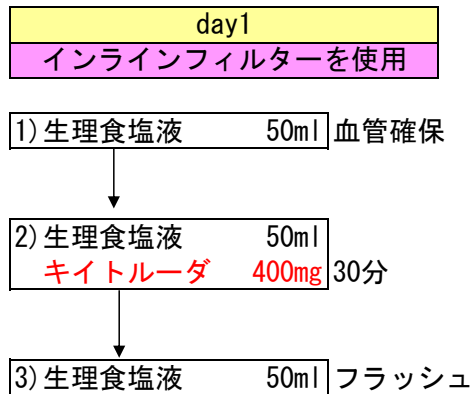
2) 生理食塩液 50ml  
オプジーボ 240mg 30分

3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意  
(軽度～中等度)  
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

## 化学療法計画書

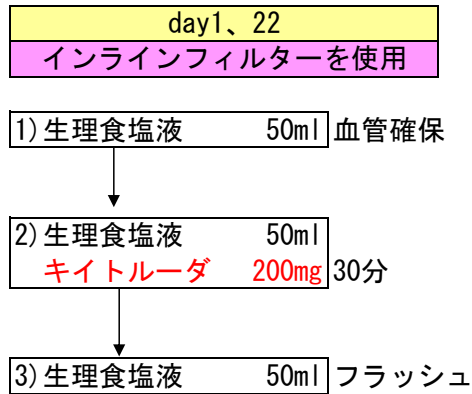
		治療法名	キイトルーダ		
		コース数	コース目		
		腫瘍種	非小細胞肺癌 ホジキンリンパ腫 悪性黒色腫 尿路上皮がん 頭頸部がん MSI-High固形がん 腎がん 食道がん 乳がん 子宮体がん TMB-High固形がん		
開始予定日		患者名	♂	年齢	
		患者ID	生年月日		
		部署	主治医	科	Dr
治療内容	Day	1 . . . . . 15 . . . . . 29 . . . . .	43 . . . . .		
	予定日	10/1	10/15	10/29	11/12
キイトルーダ	400 mg	↓			↓
治療開始日		治療間隔	6週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min		



インフュージョンリアクションに注意  
**(軽度 ~中等度)** 悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
**(重篤)** 呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
 ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

## 化学療法計画書

治療法名		キイトルーダ			
コース数		コース目			
腫瘍種	非小細胞肺癌 ホジキンリンパ腫 悪性黒色腫 尿路上皮がん 頭頸部がん MSI-High固形がん 腎がん 食道がん 乳がん 子宮体がん TMB-High固形がん				
患者名				♂	年齢
患者ID				生年月日	
部署				主治医	科 Dr
開始予定日					
治療内容	Day	1 . . . . .	8 . . . . .	15 . . . . .	22 . . . . .
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
キイトルーダ	200 mg	↓			↓
治療開始日			治療間隔	3週毎	予定コース数
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min		



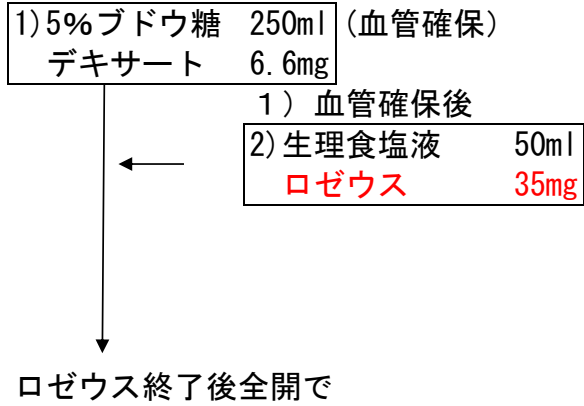
<p>インフュージョンリアクションに注意</p> <p>(軽度 ~中等度) 悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談</p> <p>(重篤) 呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など</p> <p>ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告</p>
--

# 化学療法計画書

治療法名		ロゼウス																													
コース数							コース目																								
治療法		肺がん 乳がん																													
患者名							♂		年齢																						
患者ID							生年月日																								
部署							主治医		科			Dr																			
開始予定日																															
治療内容		Day		1		2		3		4		5		6		7		8		...		15		...		22		...		29	
		予定日		1/0														1/7										1/21			
ロゼウス		25 mg/m <sup>2</sup>		↓														↓										↓			
デキサート		6.6mg		↓														↓										↓			
治療開始日							治療間隔					予定コース数					コース														
身長		150 cm		体重		50 kg		BSA		1.40 m <sup>2</sup>																					
eGFR		50 ml/min		eGFR/BSA		40 ml/min																									

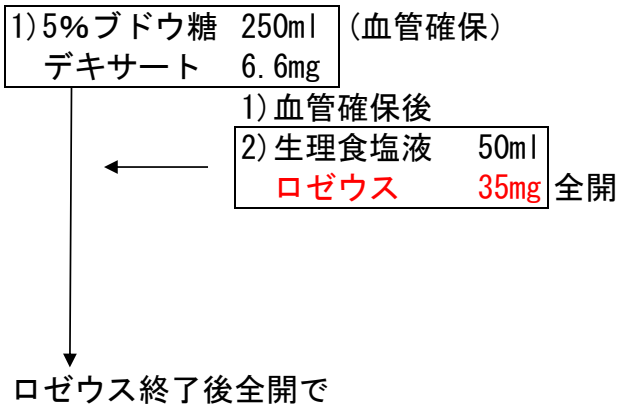
## Day 1

投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;3000</li> <li>・ Plt&gt;10万</li> <li>・ T-Bil : 2.1~3⇒15mg/m<sup>2</sup></li> <li>・ T-Bil : 3以上⇒7.5mg/m<sup>2</sup></li> </ul>	
減量基準	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G4の白血球/好中球減少</li> <li>・ 発熱を伴う好中球減少</li> </ul> →いずれかで20mg/m <sup>2</sup> に減量	



## Day 8

投与可否の基準	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;2000</li> </ul>	



## 化学療法計画書

開始予定日		治療法名		イリノテカンbiweekly												
		コース数		コース目												
		腫瘍種		胃がん 大腸がん 肺がん 卵巣がん												
		患者名		♂	年齢											
		患者ID		生年月日												
		部署		主治医	科 Dr											
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0			1/7			1/14			1/28					
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	↓														
パロノセトロン	0.75mg	↓														
デキサート	6.6mg	↓														
デカドロン	8mg	↓↓↓														
治療開始日		治療間隔		予定コース数		コース										
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>											
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min													

### Day 1

<b>投与開始基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;3000, かつ好中球&gt;2000</li> <li>・ Plt&gt;10万</li> <li>・ 下痢なし</li> <li>・ 肝・腎機能値 2 倍以下</li> <li>・ T-Bil ≥ 2.1 禁忌or (減量考慮50%量)</li> </ul>

1) パロノセトロン 0.75mg	↓
デキサート 6.6mg 30分	
2) 5%ブドウ糖 500ml	↓
イリノテカン 210mg 90分	
3) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

デカドロンはday2の朝から

## 化学療法計画書

		治療法名		ドセタキセル単剤60mg/m <sup>2</sup>							
		コース数		コース目							
開始予定日		腫瘍種		卵巣がん、食道がん、子宮体がん 前立腺がん							
		氏名				♂		年齢			
		患者ID		生年月日							
		部署		主治医		科		Dr			
治療内容		Day		1 2 3 4 5 6 7 8 . . . . . 15 . . . . . 22 . . . . . 29 .							
		予定日		1/0		1/7		1/14		1/21	
ドセタキセル		60 mg/m <sup>2</sup>		↓						↓	
グラニセトロン		1mg		↓						↓	
デキサート		6.6mg		↓							
デカドロン		8 mg		↓ ↓ ↓							
治療開始日				治療間隔		3週毎		予定コース数		コース	
身長		150 cm		体重		50 kg		BSA		1.40 m <sup>2</sup>	
eGFR		50 ml/min		eGFR/BSA		40 ml/min					

### Day 1

<b>投与開始基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好中球&gt;2000</li> <li>・ AST/ALT&lt;2xULN, T-Bil&lt;1.5 (肝転移による上昇除く)</li> <li>・ G2以上の非血液毒性がない</li> <li>・ PS 0-1. PS 2は十分注意</li> <li>・ AST/ALT&gt;1.5xULNかつALP&gt;2.5xULN, またはT. Bil&gt;1.2 →減量考慮</li> </ul>
<b>次コースからの減量基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&lt;1,000, Plt&lt;25,000</li> <li>・ 発熱性好中球減少</li> <li>・ 悪心嘔吐、脱毛除くG2以上の 非血液毒性 →10mg/m<sup>2</sup>減量を考慮</li> </ul>

1) グラニセトロン 1mg 30分 デキサート 6.6mg	↓
2) 5%ブドウ糖 250ml ドセタキセル 84mg 60分	↓
3) 生理食塩液 50ml フラッシュ	

\* 投与開始時まず5ml早送りし、10分間は50ml/hとしてベッドサイドで厳重にアレルギー症状を観察問題なければ250ml/hへ

デカドロンは day 2の朝から



## 化学療法計画書

		治療法名		ドセタキセル単剤70mg/m <sup>2</sup>							
		コース数		コース目							
開始予定日		腫瘍種		卵巣がん、食道がん、子宮体がん 前立腺がん							
		氏名		♂		年齢					
		患者ID		生年月日							
		部署		主治医		科		Dr			
治療内容		Day		1 2 3 4 5 6 7 8 . . . . . 15 . . . . . 22 . . . 29 .							
		予定日		1/0		1/7		1/14		1/21	
ドセタキセル		70 mg/m <sup>2</sup>		↓						↓	
グラニセトロン		1mg		↓						↓	
デキサート		6.6mg		↓							
デカドロン		8 mg		↓ ↓ ↓							
治療開始日				治療間隔		3週毎		予定コース数		コース	
身長		150 cm		体重		50 kg		BSA		1.40 m <sup>2</sup>	
eGFR		50 ml/min		eGFR/BSA				40 ml/min			

### Day 1

<b>投与開始基準</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好中球&gt;2000</li> <li>・ AST/ALT&lt;2xULN, T-Bil&lt;1.5 (肝転移による上昇除く)</li> <li>・ G2以上の非血液毒性がない</li> <li>・ PS 0-1. PS 2は十分注意</li> <li>・ AST/ALT&gt;1.5xULNかつALP&gt;2.5xULN, またはT. Bil&gt;1.2 →減量考慮</li> </ul>
<b>次コースからの減量基準</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&lt;1,000, Plt&lt;25,000</li> <li>・ 発熱性好中球減少</li> <li>・ 悪心嘔吐、脱毛除くG2以上の非血液毒性 →10mg/m<sup>2</sup>減量を考慮</li> </ul>

1) グラニセトロン	1mg	30分
デキサート	6.6mg	
↓		
2) 5%ブドウ糖	250ml	
ドセタキセル	98mg	60分
↓		
3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ

\* 投与開始時まず5ml早送りし、10分間は50ml/hとしてベッドサイドで嚴重にアレルギー症状を観察問題なければ250ml/hへ

デカドロンは day 2の朝から

## 化学療法計画書

治療法名	パクリタキセル80mg/m2毎週			
コース数		コース目		
腫瘍種	非小細胞肺癌、乳がん、胃がん、婦人科がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1 . . . . .	8 . . . . .	15 . . . . .	22 . . . . .	29 . . . . .
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28
パクリタキセル	80 mg/m2	↓	↓	↓		↓
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓		↓
ファモチジン	1A	↓	↓	↓		↓
レスタミン	5錠	↓	↓	↓		↓
治療開始日		治療間隔		4週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2	
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA		40 ml/min		

Day 1

Day 8 & 15

インラインフィルターを使用

インラインフィルターを使用

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;3000 好中球&gt;2000</li> <li>・ Plt&gt;75000</li> <li>・ 神経毒性G2以下</li> <li>・ 他のG2以上の非血液毒性なし</li> <li>・ PS 0-2</li> </ul>
減量基準
・ 特になし

投与可否の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;2000 好中球&gt;1000</li> <li>・ Plt&gt;50000</li> <li>・ 神経毒性G2以下</li> <li>・ 他のG2以上の非血液毒性なし</li> </ul>
減量基準
・ 特になし

1) 生理食塩液	50ml	15分
ファモチジン	1A	
デキサート	6.6mg	

点滴中にレスタミン 5錠内服

↓

2) 生理食塩液	100ml	30分
----------	-------	-----

↓

3) 5%ブドウ糖	250ml	30分
パクリタキセル	112mg	

↓

4) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

1) 生理食塩液	50ml	15分
ファモチジン	1A	
デキサート	6.6mg	

点滴中にレスタミン 5錠内服

↓

2) 生理食塩液	100ml	30分
----------	-------	-----

↓

3) 5%ブドウ糖	250ml	60分
パクリタキセル	112mg	

↓

4) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

パクリタキセル投与中は、アレルギー症状の出現を厳重にチェック  
アルコールに弱い人・お酒を飲めない人への投与時、注意

## 化学療法計画書

		治療法名		ゲムシタビン														
		コース数		コース目														
開始予定日		腫瘍種		非小細胞肺がん、膵がん、胆道がん、卵巣がん、尿路上皮がん														
		患者名				♂	年齢											
		患者ID				生年月日												
		部署				主治医	科	Dr										
治療内容		Day	1	2	3	4	5	6	8	.....	15	.....	22	..	29	.		
		予定日	1/0						1/7						1/21		1/28	
ゲムシタビン		1000 mg/m <sup>2</sup>	↓						↓						↓			
デキサート		6.6mg	↓						↓						↓			
治療開始日				治療間隔				予定コース数						コース				
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m <sup>2</sup>										
eGFR	50	ml/min	eGFR/BSA	40		ml/min												

### Day 1

<b>投与開始基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;3000かつNeu&gt;1500</li> <li>・ Plt&gt;10万</li> <li>・ AST/ALT&lt;100</li> <li>・ PS 0-2</li> <li>・ G2以上の非血液毒性がない</li> </ul>
<b>減量基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G4の白血球/血小板減少</li> <li>・ 発熱を伴うG3以上の好中球減少 →いずれかで800mg/m<sup>2</sup>に減量</li> <li>・ G2以上の非血液毒性 →800mg/m<sup>2</sup>に減量を考慮</li> </ul>

1) 生理食塩液	50ml	30分
デキサート	6.6mg	

↓

2) 生理食塩液	100ml	
ゲムシタビン	1400mg	30分

↓

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

### Day 8 & 15

<b>投与可否の基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;2000</li> <li>・ Plt&gt;70000</li> <li>・ AST/ALT&lt;100</li> </ul>

1) 生理食塩液	50ml	30分
デキサート	6.6mg	

↓

2) 生理食塩液	100ml	
ゲムシタビン	1400mg	30分

↓

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

## 化学療法計画書

治療法名	ゲムシタビン短縮			
コース数		コース目		
腫瘍種	非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	. . . . .	15	. . . . .	22	. . .	29	. . .
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
ゲムシタビン	1000 mg/m <sup>2</sup>	↓							↓				↓		↓	
デキサート	6.6mg	↓							↓				↓		↓	
治療開始日						治療間隔		予定コース数	コース							
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>											
eGFR	50 ml/min	eGFR/BSA	40 ml/min													

### Day 1

### Day 8

<b>投与開始基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;3000かつNeu&gt;1500</li> <li>・ Plt&gt;10万</li> <li>・ AST/ALT&lt;100</li> <li>・ PS 0-2</li> <li>・ G2以上の非血液毒性がない</li> </ul>
<b>減量基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G4の白血球/血小板減少</li> <li>・ 発熱を伴うG3以上の好中球減少 →いずれかで800mg/m<sup>2</sup>に減量</li> <li>・ G2以上の非血液毒性 →800mg/m<sup>2</sup>に減量を考慮</li> </ul>

<b>投与可否の基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WBC&gt;2000</li> <li>・ Plt&gt;70000</li> <li>・ AST/ALT&lt;100</li> </ul>

1) 生理食塩液	50ml	30分
デキサート	6.6mg	

↓

2) 生理食塩液	100ml	30分
ゲムシタビン	1400mg	

↓

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

1) 生理食塩液	50ml	30分
デキサート	6.6mg	

↓

2) 生理食塩液	100ml	30分
ゲムシタビン	1400mg	

↓

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------